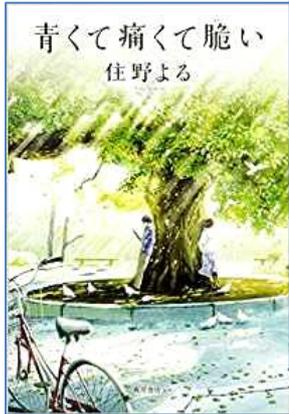


# 図書館だより②

2018年5月1日発行  
那覇市立鏡原中学校図書館

## 新しい本

図書の予約が可能となっています。人気の本は予約をしないと入手できません。ぜひ予約をしてみてください。本が届いた時、図書委員がお知らせの紙を届けます。



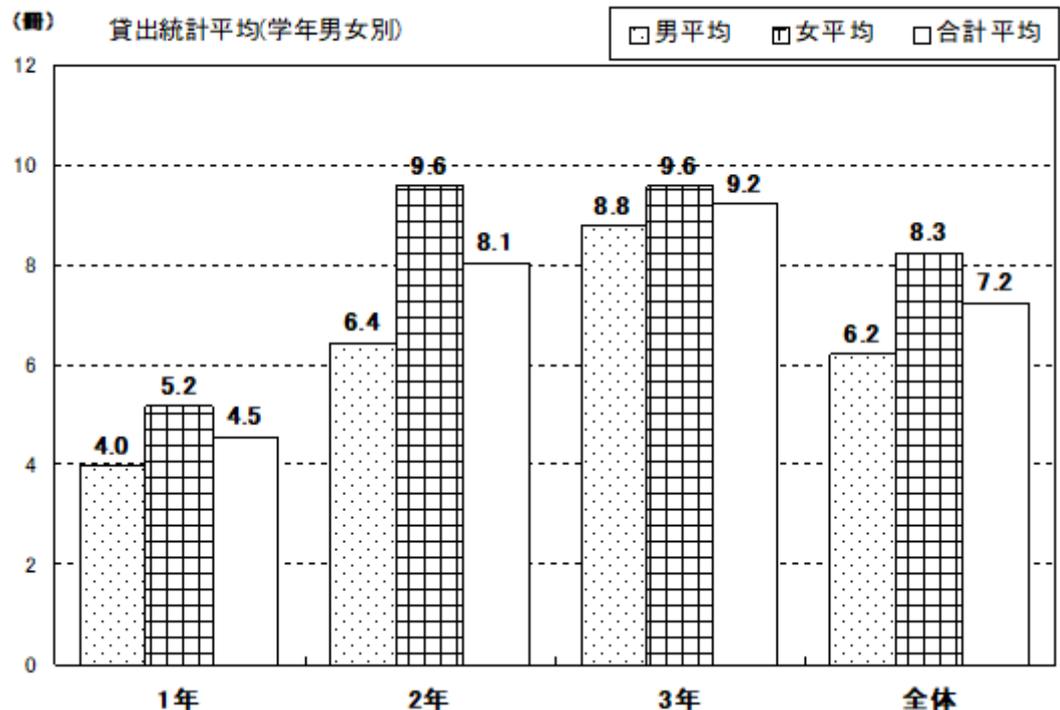
### 貸出状況 (全学年)

2018年4月1日 ~ 2018年4月27日

#### 1. 学年別・男女別 貸出冊数

学年	1年	2年	3年	合計
男	419	650	729	1,798冊
女	457	1,018	922	2,397冊
学年合計	876	1,668	1,651	4,195冊

#### 2. 学年別・男女別・一人平均 貸出冊数



まだ1冊も本をかりていない人(0冊の人)が

23人います。 早めに図書館で本をかりるようにしてください。

一年間で40冊読むイメージができていますか？ 月5〜7冊、週に1冊から2冊読めば楽々達成できる量です。月曜日の朝読書の時間も活用して、たくさん本を借りて下さい。既に40冊読んだ生徒は9名います。自分なりの目標を立ててみましょう。

## 今月のオススメ本



辻村 深月作

# 『かがみの孤城』

ある出来事がきっかけで学校に行かなくなった中学1年生のころは、ある日、部屋の鏡が突然輝き始めるのを目撃する。鏡を通り抜けると、そこは城の中。ここと同じような状況の中学生6人と出会う。9時から17時まで滞在が許されるその城で彼らは、日常と行き来をしながらひとつの課題をこなす事になる。7人は戸惑いつつも、少しずつ心を通い合わせていくのだが……。

新生活がスタートし、新しいクラス、新しい学校と、緊張する事も多かったと思います。…今、楽しく過ごせていますか？ 少し、寂しいな～疲れたな～と感じている人がいたら、この本を読んでみてほしいです。辻村深月作『かがみの孤城』。

ちょうど1年前に発売して、今年の4月には2018年の本屋大賞1位を獲得しているので、本屋さんで見かける事も多いでしょう。ぶあつくて、読みきれるかな？ となる人もいるかもしれませんが、大丈夫です。これは読めます。中学1年生でも2～3時間で一気に読みができると思います。学校で生活しているすべての子どもたちが、どんなに楽しくても、ふとした事で悩んだり泣いたり……リアリティをもった「生きづらさ」が描かれていて、大人になった私でも夢中になって（ちょっと泣きたくなりながらも）読み終える事ができました。「子どもは環境を変える事ができない」という事実もつきつけられますが、この物語の怒濤の展開に、最後はとても励まされてしまいます。元気になれます。

数年後には映画化やアニメ化もされているだろう、そういう本なので、旬の今、手に取って読んでほしいです。

(文責：うえはら)

★ 毎月第3日曜日は「ファミリー読書の日」です。

ご家庭で、親子で、本に親しむ機会を作りましょう。 ★

## 5月の読書目標

『朝の読書活動を  
定着させよう。』

